

地域生活支援拠点等の報告
(令和4年2月～令和4年5月)

1 各機能の実施状況

- (1) 相談 資料9-1を参照
(2) 緊急時の受け入れ・対応

項目	件数	累計	備考
短期入所	1件	1件	
短期入所（措置）	1件	1件	

- (3) 体験の機会・場の提供

項目	件数	累計	備考
G H体験入居	3件	6件	報告期間新規契約者：女性0名、男性2名。累計契約者：女性1名、男性3名。
賃貸住宅体験利用	0件	2件 (R3年度)	

2 主な相談内容と今後の課題

【土日の相談状況について】

・土日の相談件数はこれまでに引き続き少なく、0件の日もあります。しかし、一般就労をされている方など、土日にしか相談ができない方のニーズも変わらずある状況です。

・軽度知的障がいの方で、自殺企図があるが飲酒状態であったため入院受け入れがされず、短期入所の調整を行い緊急対応したケースがありました。

【グループホーム花桃の体験利用について】

・毎月第2第4木曜日 13:30～の見学会は継続して実施しています。見学希望者は毎回いるものの、以前より人数は落ち着いてきています。

・傾向として、ネット環境を気にされる利用者が多い印象です。余暇の過ごし方として、スマホやタブレットを利用するため Wi-Fi を希望されることが多いです。現状、花桃入居者にネット環境を求める方がみえないこともあり、Wi-Fi は設置しておりません。

・通所先の送迎が確保できず、利用を断念したというケースは報告期間の内にはありませんが、今後可能性として有りうると考えます。どのくらい送迎に関して協力的なのか、各通所事業所へアンケート調査を行う予定です。

・体験利用をされた方に定期的にアンケート調査を行うこととなり、アンケートを作成中です。体験利用をしたことで、将来の見立てについて変化があったかどうかや、改善すべき点などを調査する予定です。

・相談支援専門員（相談員）へ、体験事業の案内をしたが繋がらなかったケースがある場合、その理由について吸い上げをしていきたいと考えています。

◎アセスメントの結果

グループホームの入居を目指し、環境に慣れるために利用を希望する方や、施設入所かグループホームかどちらが適切か試す方がみえました。現状にいっぱいいっぱい、これまで将来の見通しが持てずにいた保護者もみえ、相談支援専門員と共に伴走しながら親亡き後のことを考えていく必要があるケースもありました。

引き続き、アセスメントを重ねて緊急事態のリスクがある世帯の把握を行っていきます。